

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105610
法人名	株式会社 アクト企画
事業所名	グループホーム我が家
所在地	松山市鷹子町705-2
自己評価作成日	H22年2月17日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年3月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>玄関に手作りのベンチがあり、そこで天気の良い日は日光浴をしている。利用者や職員の関係が安定しており、笑顔が随所に見られる。昔の話を聞いたり、新聞について色々な話をしたりと、のんびりとした時間を大事にしている。毎年、遠足ということで、遠出をしている。昨年は、しまなみ街道に行き、バラ公園、いきいき館で楽しく過ごしました。家庭菜園があり、季節のものを育てている。庭で取れたものをすぐに食事に使ったりしているので新鮮。地域の踊りの先生との交流。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>日々、散歩に出かけ、近所の方と挨拶を交わしたり、梅の花が咲くころには、近隣のお宅の庭に咲く梅の花を見せてもらいに寄せてもらうことが恒例になっている。事業所に住所を移しておられる利用者は、地区の敬老会に出席されたり、事業所で夏祭りを行った際には地区のテントを貸していただく等、協力をいただいた。近隣の福祉施設での芸能の催しを見に出かけられたり、事業所のスプリンクラー設置工事の際には待機場所に貸していただいた。夏祭りの案内は利用者とともに近隣にチラシを配られた。今年度、9人乗りのワゴン車も購入され、外出を楽しむことができるような環境を整備され、「利用者が出かけたいときに出かけられるような支援」に努めておられる。市内の「ハーモニーカフェ」に出かけて、コーヒーを楽しめることもある。又、給を買いに近くのドラッグストアに出かけることもある。お花見や遠足、又、敷地内の畑の作業等で外に出て過ごされることもある。</p>

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム我が家

(ユニット名) ユニット1

記入者(管理者)

氏名 中山 多希史

評価完了日

平成22年2月17日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「地域住民の一員であることが実感できるような生活を支援します」という理念を追加し、実践につなげている。 (外部評価) 事業所では、運営理念に「気がつく 気になる 気が利く」と掲げ、利用者の「気持ちに寄り添った利用者主体のケア」が行えるよう取り組みをすすめておられる。管理者は、職員の利用者への声かけや対応について、理念に沿って取り組めるよう日常的に伝えておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 町内会に加入している。地域の運動会や、行事に参加し地域の一員になれるよう努めている。また、盆踊り会に向けて、地域の方に来て頂き、教えてもらったり、舞踊などを披露していただいたり、交流を深めている。 (外部評価) 日々、散歩に出かけ、近所の方と挨拶を交わしたり、梅の花が咲くころには、近隣のお宅の庭に咲く梅の花を見せてもらいに寄せてもらうことが恒例になっている。事業所に住所を移しておられる利用者は、地区の敬老会に出席されたり、事業所で夏祭りを行った際には地区のテントを貸していただく等、協力をいただいた。近隣の福祉施設での芸能の催しを見に出かけられたり、事業所のスプリンクラー設置工事の際には待機場所に貸していただいた。夏祭りの案内は利用者とともに近隣にチラシを配られた。	管理者は、地区の清掃活動等へも積極的に出かけていきたいと話しておられ、さらに地域の方達に事業所のことを知っていただきたいと考えておられる。今後は、ホーム便りの作成をすすめ、事業所のサービス等を具体的に発信されたり、認知症についても知ってもらえるような取り組みをすすめていきたいと考えておられた。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域の方々へ実践を通じて積み上げている知識を活かす場面が作れていないのが現状である。今後、地域の方とグループホームがどのようなものなのかを含めた交流会、認知症に関する勉強会などが開催できるように努めたい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアの取組みや現在の状況などを報告し、話し合 い、そこからの意見をサービスへ反映させている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議には、町内会長や民生委員の方、ご家族等も参加 いただき、行事の報告等、事業所の近況報告をされ、 質問やご意見をうかがっておられる。地域の方には、 火災時等、いざという時に協力していただけるようお 願いされている。</p>	<p>会議で出されたいろいろな意見等をきっかけにして、 事業所のさらなるケアサービスの質を高めるような取 り組みにつなげていかれてほしい。又、会議時に話し 合ったことをご家族に報告されたり、ご意見をうか がってみる等、会議を活かした取組みをすすめてい かれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域包括支援センターなどが主催する会などに参加し たり、他の研修会などにも参加している。市の担当者 とは、困った時など対応を相談したりして協力関係を 築くように取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議のすすめ方やケアサービスについてアド バイスをいただいている。</p>	<p>地域包括支援センターなどが主催する会などに参加し たり、他の研修会などにも参加している。市の担当者 とは、困った時など対応を相談したりして協力関係を 築くように取り組んでいる。</p>
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束が利用者にとってどのような影響を与えるの かなどを話し合い、言動や対応などにも身体拘束とな る場面がある為、しらない間にしているとい う状況を作らないように随時話し合っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ユニット入口は、職員が暗証番号を入力し、開くよう になっている。利用者が出かけようとする時には、 職員が先に回って開錠しておくようにされている。ト イレや居室には、利用者が必要時にブザーを鳴らして 職員を呼べるような設備が付いている。</p>	<p>事業所では、ユニット入口の開錠時間を長くすること 等も考えておられた。利用者の自由と安全を守りなが ら、施錠をしなくてもすむような工夫について、今後 も考えていかれてほしい。又、職員個々のさらなるス キルアップをすすめ、ケアの質向上を目指していかれ てほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月一回の職員会で意見交換をしている。その他、柔軟に意見を言いやすい関係作り、雰囲気作りをしている。また、定期的に管理者が全職員の個人面談して、話しなども聞いている。	
			(外部評価)	
			半年ごとに、管理者は職員と話す時間を持っておられる。居間の壁面飾り等についても職員のアイデアが採り入れられている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			代表者は、管理者や職員がやりがいなどを持って働けるように、特別休暇を設けたり、参加したい研修などがあれば参加できるように職場環境・条件の整備に努めている。また、勤続年数によって奨励賞などを定めており、向上心を持てるように配慮している。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			代表者は、管理者や職員のケアの質を向上させる為に、参加したい研修などがあれば参加できるようにしている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			グループホーム連絡協議会や地域包括支援センターなどが主催する研修会や交流会に参加し、交流を図る取り組みをしている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用前訪問にて本人から直接話しを聞き、不安や求めている事等を受け止めるようにしている。また、スムーズに利用していただくために、入居までに他の利用者さんとの交流なども出来るようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族と話し合い、不安や求めていることを把握し、入居後も定期的に話し合い、不安の軽減や要望に対応できるようにしている。	
17		初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時に本人と家族の話しを聞き、必要なサービスへ繋ぐように努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 雰囲気的大事にしており、利用者と時間を共に過ごせる工夫をしている。その中で、喜怒哀楽を共にし、笑いあり、涙ありの当たり前前の生活を支援している。	
19		本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族と小さな喜び、悲しみでも共有できるように報告している。その中でより良い関係を築いていけるよう取り組んでいる。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入居以前より利用していた美容室に行ったりしている。馴染みの場所へ行ったりもしている。また、馴染みの人たちが訪ねて来やすい様に配慮している。 (外部評価) ご自分で携帯電話を持っておられる利用者は、ご家族と連絡をとっている。毛染め等にご家族と美容室に出かける方もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	
			利用者同士の関係を理解し、関わりあえるよう支援している。職員が利用者の関係を上手に取り持つことにより良好な関係作りができるように心がけている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	
			関わりを必要としている家族や利用者には支援をしていけるようにしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	
			散歩や買い物などの希望に対応できるように支援している。センター方式や職員会等で希望や想いの把握に努めている。	
			(外部評価)	職員は、日々の利用者とのかかわりの中で個々の思いや意向等の把握に努めておられる。職員は、利用者の外出等の希望をよく把握されており、今後さらに支援に取り組みたいと話しておられた。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	
			家族の面会時に話を聞いたり、本人との会話の中から把握に努めている。また、センター方式シートを活用し、生活歴や馴染みの暮らし方などの把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	
			利用者一人ひとりについて現状を把握すると共に、職員が随時意見を出し合い、心身状態も考えながら変化に応じたケアができるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族の希望や本人の想いも含め、利用者本位の介護計画になるように努めているが、十分ではない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族の来訪時等に要望等をお聞きして、管理者は「利用者をさりげなく支援する」ことを大切にされた計画の作成に努めておられる。介護記録には、計画内容に沿った支援は色を変えて記録され、半年ごとの見直し時に評価して反映されている。</p>	<p>さらに、ご家族にも具体的に話し合ったりご意見をうかがいながら、ご本人がより良く暮らすための支援に向けて計画を作成していかれてほしい。又、介護計画についてご家族にも分かりやすいような計画の作成にも取り組まれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別記録に気づきや工夫を色を変えて書くようにしており、情報の共有に努め、それを介護計画に活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>買い物や通院など、本人や家族のその時々要望に応えられるよう、柔軟に対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>近くのお寺参りをしたり、買い物をしたり、公民館での講座に参加したり、病院へ行ったりできるように支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 本人及び家族の意向にそえるように支援している。	
			(外部評価) 専門医の受診時には、ご家族の希望をお聞きしたり、 事業所からも情報提供をしながら、受診する病院を決 め支援されている。それぞれのかかりつけ医の往診も ある。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 利用者の状態を看護師に伝えて、個々の利用者が適切 な受診や看護を受けられるように支援している。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院した時も安心して過ごせるように、介護サマー ーと共に本人の性格や行動、要望を伝えるようにしてい る。病院にも定期的に顔を出し、安心していただける ようにしている。早期退院に向けて病院関係者と話し 合い調整している。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 重度化した場合や終末期のあり方については、利用者 や家族との話しが十分に出来ているとはいえない。職 員教育も十分でないので、今後、看取りをするにあ たっての勉強会を開くなどしていきたい。	今後、AEDの使い方の講習の受講をすすめたり、重度化 した場合や終末期の支援についてご家族の不安や心配 ごと等を聞き取り、話し合う機会を設けられたり、職 員でも勉強を重ねて、ご本人にかかわる人たちで協力 し合いながら支援していけるよう、体制作りをすすめ ていかれてほしい。
			(外部評価) 事務所にAED(自動体外式除細動器)を設置された。事 業所では小さな変化等にも、職員が「気がつく」「気 になる」ように取り組まれている。入居時等に、ご本 人やご家族に重度化した場合や終末期の事業所の支援 について説明をされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			緊急時のマニュアルを作っている。定期的に事故発生時などの対応を話し合っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			消防訓練などは行っているが、地震や水害などについてはまだまだ不十分である。	
			(外部評価)	
			昨年11月には、設備の点検と火災時の通報の訓練が行われた。又、スプリンクラーを設置されている。消防署の方からのアドバイスで、居室入口ののれんを外すことに決めておられた。近々、避難訓練を行う予定となっており、職員が利用者の立場になって避難の体験をされる等、計画されていた。いざという時には管理者等、職員数名がすぐに駆けつけるようになっている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			プライバシーや誇りを保てるように、言葉かけには注意している。	
			(外部評価)	
			事業所ではこの一年間、利用者を中心にした会話等に取り組みされた。職員は、笑顔でやさしく利用者へ接しておられ、「言葉使いに気を配りケアしている」と話しておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			わかりにくい場合も希望の表出を汲み取る努力をしている。納得した生活を送って頂く為、自己決定の場面を作り、支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	一人ひとりのペースに合わせてつつ、希望にそった支援をしている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	個々の好みに合わせたおしゃれの支援をしている。理容・美容も本人の望む店に行けるように支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	食事作りに何かしら関わられるように支援している。食事を作ったり、後片付けを一緒にすることにより役割や楽しみを共有している。	
			(外部評価)		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	その日の体調などに合わせて、お粥などを作ることもある。栄養バランスを考えたメニューになっている。水分摂取が難しい方は、水分表を作って目標とする水分確保ができるよう支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	利用者個々の能力に合わせた声かけ、見守り、介助をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			一人ひとりの排泄パターンをつかみ、気持ちよく排泄できるようにしている。	
			(外部評価)	
			職員は、こまめに利用者に声を掛けてトイレに誘導されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			便秘の方には腹部マッサージをしたり、青汁を飲んでいただいたり、水分を取るようにしたりと便秘予防の対応をしている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			個々の好みや体調に合わせて入浴している。	
			(外部評価)	
			一般家庭用の浴槽で、利用者個々にお湯の温度や所要時間等、好みに合わせて支援されており、お風呂のお好きな方も多いようである。	さらに、重度化した場合、現在はシャワー浴となっているが、ご本人やご家族の希望等もお聞きして、浴槽で温まることができるような支援はできないだろうか。利用者個々が気持ちの良い入浴ができるよう職員で話し合い、支援に工夫を重ねていかれてほしい。
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			個々のリズムや体調に気をつけて、安心して休息したり眠れるようにしている。また、夜間安眠に繋がるよう日中の支援、認知症症状に合わせて不安を取り除き、気持ちよく眠れるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者一人ひとりの服薬資料を作っており職員が確認できるようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 生活歴や力を活かし役割、楽しみ事、気晴らしの支援をしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) その日の希望にそって、買い物や散歩など戸外に出かけられるよう柔軟に対応している。また、普段は出かけられないような場所も家族や地域の方と協力し出かけられるよう支援している。	
			(外部評価) 今年度、9人乗りのワゴン車も購入され、外出を楽しむことができるような環境を整備され、「利用者が出かけたときに出かけられるような支援」に努めておられる。市内の「ハーモニーカフェ」に出かけて、コーヒーを楽しまれることもある。又、飴を買いに近くのドラッグストアに出かけることもある。お花見や遠足、又、敷地内の畑の作業等で外に出て過ごされることもある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの能力に応じて、お金を使えるように支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 個々の希望に合わせて、自由に手紙や電話が出来るよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	季節感を出す壁飾りや写真などで居心地の良い空間を作っている。また、利用者さんが書いた習字などの展示をしたりしている。 行事時の写真を玄関に掲示されていたり、利用者とともに作った作品も飾っておられた。居間の陽があたる一角にじゅうたんを敷いてコタツが置かれてあり、くつろいで過ごしておられる利用者もあった。	
			(外部評価)		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	ソファやベンチ、コタツなどを設置しており、それぞれが思い思いに過ごせるようにしている。また、配席なども工夫している。	
			(外部評価)		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	居室には本人が使い慣れた家具等を自由に持ち込んで頂き、配置に関しても本人、家族と相談しながら行い、居心地良く過ごせるよう支援している。 居室にテレビを置いて見ておられる方や、新聞を個人で取って読まれている方もいる。畳に布団を敷いて休まれている方もあり、犬のぬいぐるみにも布団を掛けてかわいがっておられる方もあった。ご自分のダンスの上に、小物や置物の人形等を飾っておられる方やマッサージチェアを持ち込まれている方、本箱に本を揃えておられる方もあった。	
			(外部評価)		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	利用者一人ひとりの認識力を把握し環境づくりをしている。	
			(外部評価)		